

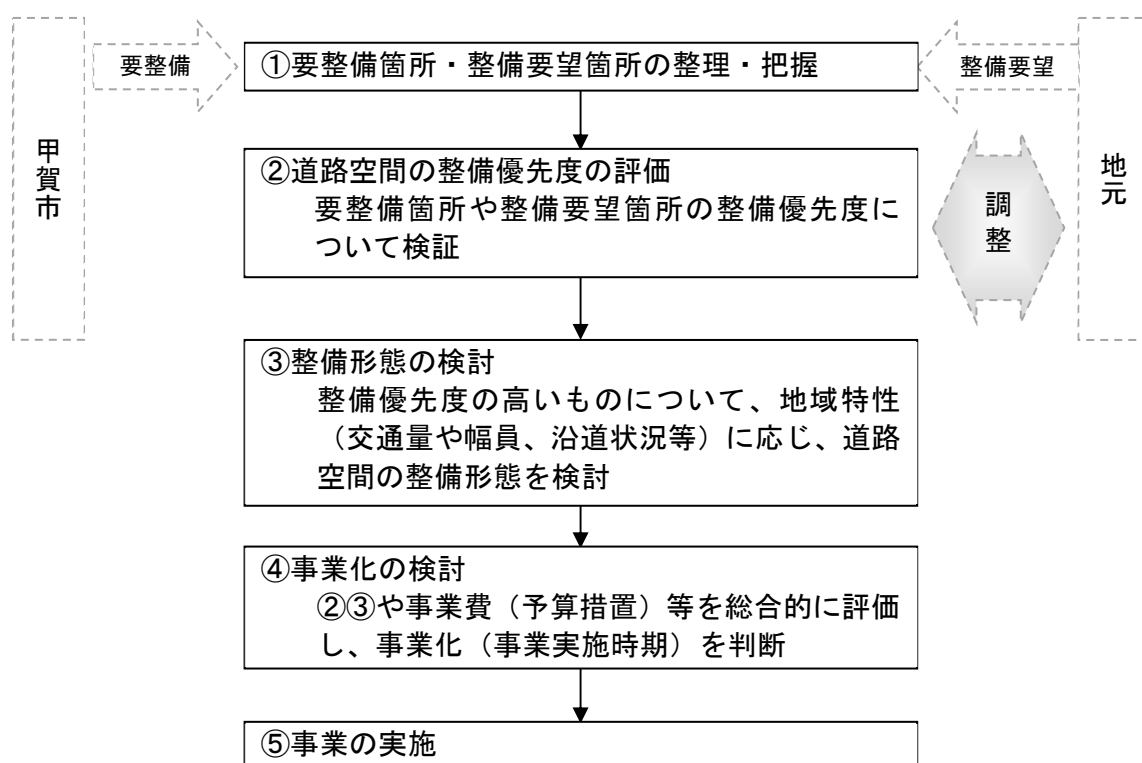
10. 生活道路の評価

(1) 生活道路の整備方針

生活道路とは、主として地域住民の日常生活に利用される道路で、地域内の移動や地域から幹線道路に至るまでに利用され、生活者の間口まで繋がる道路である。一方で幹線道路は、地域や都市における主要な地点を結んで道路網の骨格を形成する道路である。このため、生活道路と幹線道路は担う機能が異なり、本計画で定める幹線道路の整備とは別に生活道路の整備を進める必要がある。

生活道路は、幹線道路から外れた住宅街や集落内にある幹線道路から各戸の間口までを結ぶ中央線の無い車道幅員が概ね 5.5m 未満の道路が該当する。

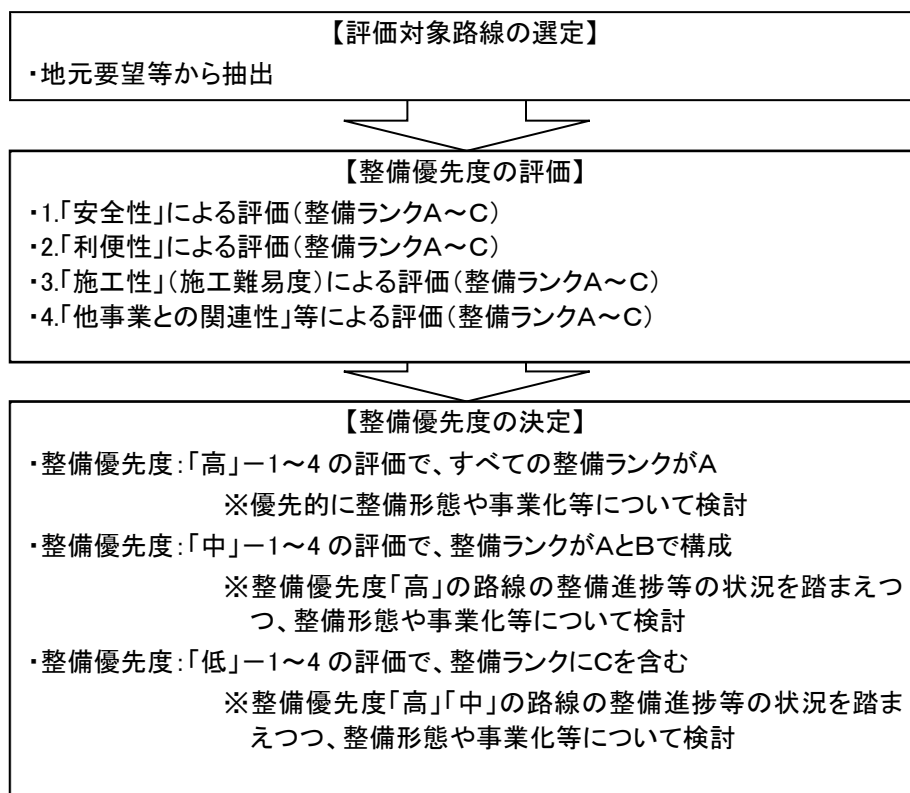
この生活道路の整備においては、幹線道路のように道路を指定してその機能进行评估するのではなく、要整備箇所や地元からの整備要望をその要望毎に一定の評価方法・基準に従い整備優先度を評価し、計画的に整備していくものとする。



図一生活道路の整備の流れ

(2) 整備優先度評価の流れ

生活道路の整備は、地元要望等の挙げられる路線を優先的に実施する。評価の視点は、「安全性」、「利便性」、「施工性」、「他事業との関連性」を考慮し、総合判断のうえ、整備優先度を決定する。なお、整備優先度は「高」「中」「低」の3段階とし、「高」評価の路線を優先的に整備形態や事業化等などの実施に向けた検討を行う。



(3) 評価基準の設定

整備優先度評価の流れに基づき、生活道路の評価基準を以下のとおり設定する。評価基準による整備ランクの確認を行い、整備優先度を確認する。整備優先度が高い場合に整備の検討を行うこととし、整備優先度が低い場合も将来的に評価の視点に該当して整備ランクが整い、優先度が高くなった時点で整備の検討を行う。

表－生活道路の評価基準

評価項目		評価の視点	整備ランク		
			A	B	C
道路機能の評価	1. 安全性	①消防活動困難地域※を解消 ②通学路 ③避難所へのアクセス道路 ④自動車、歩行者、自転車のいずれかの交通量が多い	①②③④のうち、2 つ以上に該当	①②③④のいずれかに該当	該当なし
	2. 利便性	①地域内の公的施設へのアクセス道路 ②地域や集落内から幹線道路にアクセスする道路 ③鉄道駅やバス停へのアクセス道路	①②③のうち、2 つ以上に該当	①②③のうちいずれかに該当	該当なし
事業効果の評価	3. 施工性 (施工難易度)	①移設物件がない (あっても容易な移設物件) ②用地買収を伴わない(伴う場合でも地元の総意での要望であり、交渉が比較的容易) ③擁壁等の構造物が必要ない ④擁壁等の構造物が必要だが比較的小規模	①②③に該当	①②④に該当	左記以外
	4. 他事業との関連性等	①他事業(まちづくり計画・施設整備計画、歩行者・自転車ネットワークの整備方針等)との関連性あり ②地域の主体性(地域主体での計画策定、合意形成、用地提供、維持管理等)	①②に該当	①②のいずれかに該当	該当なし

※消防活動困難地域:幅員 6m 以上の道路から 100m 以上離れた区域とする

表－整備優先度

評価	整備優先度
・すべての整備ランクがA	整備優先度「高」 ・優先的に整備形態や事業化等について検討
・整備ランクがAとBで構成	整備優先度「中」 ・整備優先度「高」の路線の整備進捗等の状況を踏まえつつ、整備形態や事業化等について検討
・整備ランクにCを含む	整備優先度「低」 ・整備優先度「高」「中」の路線の整備進捗等の状況を踏まえつつ、整備形態や事業化等について検討

あとがき

本市は、令和6年10月に旧5町の合併後20年を迎えます。

かつては東海道の宿場町として栄え、現代においても京阪神圏・中京圏・北陸圏の結節点となる良好な地理的特性を有しています。

しかしながら、滋賀県は、製造・物流の拠点地域であるにもかかわらず、県内の一般国道整備率は全国42番目（令和3年4月1日時点）であり、道路整備の遅れが地域の持続的かつ継続的な発展の妨げとなっております。

また、近年はいつ起こるかわからない自然災害や、年々増加傾向にある局地的大雨等に対し、社会基盤整備等の施策により、平時から自然災害等に備え、強靱な国土を形成すること等を目的に、市内でも多くの幹線道路網が整備・計画されているところです。

特に本市では、日本海と太平洋を接続する高規格道路の「名神名阪連絡道路」や6車線化が進められている「新名神高速道路」など、広域的な幹線道路の供用により、交通機能の向上を通じて、地域の工業・農業・観光など産業の活性化に繋がるとともに、行動圏の拡大により地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

この好機を逃すことなく、整備された幹線道路の供用と共に、中長期にわたり得られる様々な効果を最大限に活かすため、地域の経済や産業などを活性化させる効果が見込める道路整備を目指します。